



↑ 議案質疑に向け、会派内で意見調整したときの写真。なお、撮影のため、一時的にマスクは外しています。



私たち令和新政クラブは、保守系議員4人で構成する、犬山市議会最大会派の政策集団です。

それぞれが違う地域・基盤で活動しており、今まで培ってきたバックグラウンドも異なることから、多種多様な問題を市民目線で共有、解決していく事を目指す会派です。大井雅雄(高齢者支援・公共交通)、長谷川泰彦(土木・環境)、小川清美(建築・都市計画)、畑竜介(ICT系・市民活動)と、それぞれの得意分野を活かしながら、そして、新しい事柄にも挑戦しつつ、地域の課題にひとつひとつ丁寧に向き合い、少しでも幸せが実感できるよう行政への提言を行っていきます。

## もうすぐ 新型コロナウイルス ワクチンの接種が開始されます

対象	市民(原則として住民票のある市町村で接種します。)
接種回数	2回接種
接種費用	無料
接種方法(会場)	個別接種(市内受託医療機関) 集団接種(市役所・南部公民館・市民健康館)

## 犬山市の新型コロナ対応

(単位千円)

産業 関連 対策費	プレミアム商品券	418,791
	休業等協力金	179,361
	設備投資補助金	68,000
	セーフティネット補助金	57,293
	家賃補助金	42,294
子育て 関連 対策費	子育て世帯臨時給付金	193,464
	ひとり親世帯臨時特別給付金	102,896
	保育所等感染対策	46,527
	民間児童福祉施設等職員応援金	900
	寄附金による消耗品	50
	その他	
学校 関連 対策費	アルコール等感染対策備品費	24,512
	休校中のタブレット貸し出し設定費	20,000
	校内の消毒等のサポートスタッフ	12,014
	就学援助(食事・通信補助)	5,327
	夏休みの補習費	1,168
	その他 対策費	特別定額給付金(1人10万円給付)
新型コロナウイルスワクチン接種		593,841
避難所感染対策		29,643
高齢者インフルエンザ予防接種助成		21,591
救急隊用感染防止装備		5,981
住宅確保給付金		5,607
傷病手当金	2,760	



令和2年度に関しては、新型コロナウィルス一辺倒の1年となってしまいました。

犬山市としても市民の皆様の「安心・安全」な暮らしを守る為、様々な施策を講じてきました。

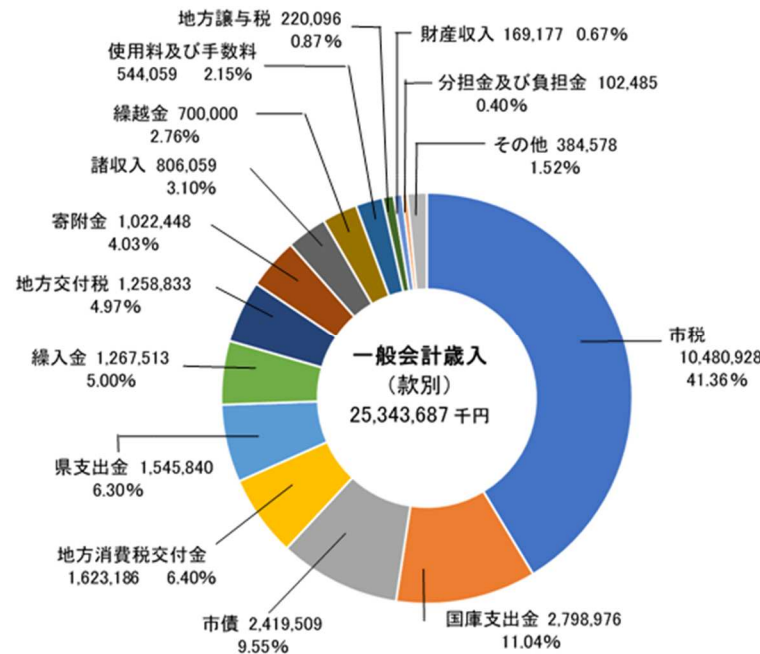
一覧表は令和2年度コロナ対策に使われた金額の主なものです。

令和3年度も市民の「安心・安全」な暮らしの為、様々な施策を展開していく予定です。

# 令和3年度当初予算を可決

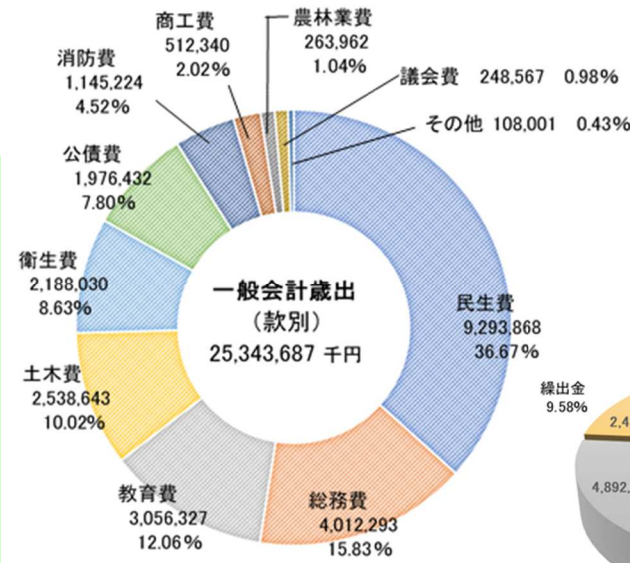
全体規模 444.1 億円

一般会計は、新型コロナウイルス感染症の影響による市税の大幅な減収を見込んだことにより、歳入総額 253 億 4,368 万 7 千円で、前年度と比較して 2.2%、5 億 7,875 万 5 千円の減。特別会計と企業会計を合わせた全会計の総額は 444 億 787 万 6 千円で、前年度から 2.1%、9 億 4,234 万円の減少となっています。

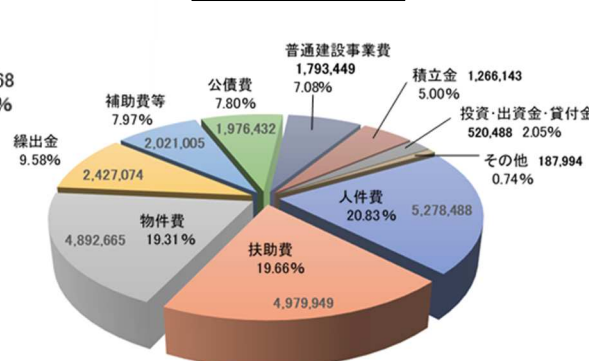


## 【一般会計歳入】

予算規模全体の 41.4% を占める市税は、対前年度比で 10 億 9,984 万 2 千円、9.5% の減少となり、総額で 104 億 8,092 万 8 千円。主な要因は、新型コロナウイルス感染症による全国的な経済の停滞を考慮したため。個人市民税にあっては個人所得の減収、法人市民税にあっては法人税割の税率が引き下げに加え、企業収益の大幅な減収を見込み、大きく減額。固定資産税は、新增築家屋の棟数が若干減っていることや令和3年度が評価替えの年であることを考慮し、減額。軽自動車税は登録台数が微増であることから増額、市たばこ税は健康志向による喫煙離れが進むと見て減額となっている。



## 性質別歳出



## 【一般会計歳出】

- 民生費は、前年度比 2.3% の減少。障害者に係る予算が増加している一方で、福祉医療や生活保護に係る予算は減少。
- 総務費は、前年度比 10.9% の増加。前年度から約 2 億 3 千万円の増加となったふるさと納税に係る経費が含まれているほか、普通財産の売却益としての公共施設等管理基金積立金で約 1 億 3 千万円の増加。
- 教育費は、前年度比、0.6% の増加。予算総額としての変動は小さいが、読解力向上のための取り組みのさらなる充実を図るとともに、身体の障害や学習に困難を抱える児童生徒への対応を強化。また、犬山南小学校の改築に係る実施設計に着手。
- 土木費は、前年度比、8.5% の減少。前年度に大規模な砂防関連事業を実施したことや、国の補正予算による補助金を活用するために令和2年度補正予算として約 1 億 4 千万円を前倒しで計上した影響により、土木費全体では減少となっている。

## 令和2年度 議会総括

犬山市議会は、昨年5月から“通年議会”制を採用しました。通年議会とは、議会が活動できる期間である「会期」を、通年(1年間)として、閉会期間をなくし、必要に応じて本会議・委員会を開けるようにする制度です。令和2年度は、4回の定例議会のほか、6回の臨時議会等が開かれ、113件の議案や11件(3月17日時点)の承認案件などを審議しました。特に昨年は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う補正予算が幾度も上程されました。(右一覧表参照)

年	区分	条例	単行(契約等)	人事	補正予算	決算	予算(当初)	件数(議案数)	報告等	案件総数
R2	4月臨時会				1			1		1
	5月開会議会	1	1		1			3	1	4
	6月定例議会	8	2	10	5			25	7	32
	7月臨時議会		1		1			2		2
	8月臨時議会					1		1		1
	9月定例議会	7		3	9	3		22	3	25
R3	10月臨時議会				1			1		1
	11月定例議会	13	4		9			26		26
	1月臨時議会		1		1			2		2
	2月定例議会	10	2	5	5		8	30		30
	小計	39	11	18	34	3	8	113	11	124

## 令和3年度市の施策

～市長の施政方針演説より主なものを抜粋～

### \* 経営部

- ・ 市役所手続きの書かなくてよい窓口導入と、オンライン化、キャッシュレス化の拡大推進
- ・ 休日急病診療所など4施設のトイレの洋式化

### \* 市民部

- ・ 外国語窓口通訳者1名を採用し、サポート体制を強化
- ・ 通学路の交通指導員2名増員、自転車乗車用ヘルメット購入補助導入、高齢運転者への後付け安全装置への補助継続

### \* 健康福祉部

- ・ 認知症高齢者「個人賠償責任保険事業」を新設
- ・ 新生児の聴覚検査費用の助成の開始と、3歳児健診の目の検査機器「フォトスクリーナー」を導入

### \* 都市整備部

- ・ ゲリラ豪雨等による冠水対策に向けて、五ヶ村排水区の用地測量及び設計業務に着手
- ・ 五条川右岸処理区における、犬山東三条、北首塚地区等の管きよ整備

### \* 経済環境部

- ・ 農産物付加価値向上補助金及び新規就農時の初期投資費用への補助制度創設
- ・ 粗大ごみ戸別収集の電話受付を土日祝祭日(年末年始を除く)午前9時から午後5時まで行う

### \* 教育部

- ・ 多子、多胎世帯、多胎妊婦に対して妊婦健診受診票の追加交付のほか、家事援助ヘルパー派遣事業、移住定住補助金20万円上乗せ、犬山産新米10kgの提供など実施
- ・ 保育士6名を増員し保育サービスの充実、橋爪、五郎丸子ども未来園統合に向け用地取得と基本設計推進

### \* 消防

- ・ 40m級はしご付消防自動車の更新と、救急車の4台体制のスタート
- ・ 第5分団車庫を楽田ふれあいセンター敷地内への移転設計業務に着手

## 新年度予算に対する質疑と回答

- \* 本会議及び各常任委員会にて会派として行った「一般会計予算」に関する質疑とこれに対する回答(抜粋)(本会議)
  - ・ 防災行政無線をMCA無線とした理由は、山間部などのエリアについて、通信は問題ないか? → 他市町での実績や、基地局設置の必要がなく安価なため。エリアについては実証済みで大丈夫
- (総務委員会)
  - ・ 町内会のデジタル化実証実験の初期設定費用6万円とは? → 各町内会の実情に合わせたカスタマイズ費用など
  - ・ 非常勤特別職として、採用する弁護士の業務は? → 総務課に配置し、職員の法務能力の向上をサポートなど、様々な業務上の課題解決
- (民生文教委員会)
  - ・ 受動喫煙防止対策費補助の周知やアピール方法は? → 広報や商工会議所をとおして積極的にアピール
  - ・ 児童生徒に情報端末を配布しICTの活用を図る事業費4,119万円の詳細は? → タブレットリース代3,352万5千円(5,918台)、ネットワーク等の保守業務委託費683万7千円、インターネット回線使用料82万3千円
  - ・ 保育業務支援システムでの子供の様子など、卒園後のデータはどうなるのか? → 卒園後も自分で削除されない限り、アプリを通じていつでも見ることが出来る
- (建設経済委員会)
  - ・ 農産物付加価値向上補助金の補助対象者の要件は? → 市内で農作物を生産する農業者、販売目的の小規模農業者。また、3人以上の農業者が連携した場合も対象となる
  - ・ 様式化する丸の内緑地公衆トイレは、蓋のあるものか(コロナ感染対策)? → 新規設置するトイレはウイルスや菌の飛び散り防止は重要との考えで蓋のあるもの



大井 雅雄

**Q** 五条川の桜は美しいが、川床からは、幹の太い雑木が茂っている。水流を堰き止める働きをして、五条川の水位を上げ、洪水の危険も考えなければならぬ。堆積土砂や雑木を除去できないか？

**A** 県では、令和3年度からの5ケ年で順次対策を実施する計画で、五条川においては、令和3年度より、半ノ木川合流部から前川原橋までの区間について、対策を実施する予定となっています。

**Q** 羽黒地区の県道多治見犬山線を拡幅できないか？

**A** 先日、地元要望書が提出され、市としましてもこれを機に、現在の交通困難状況の改善に向けた事業促進を県に、より強く要望していきます。



長谷川 泰彦

**Q** 市長はふるさと納税の更なる獲得を目指すとしているが、業務量や手数料などの増加が考えられる。予算として経費の見込額はいくらか？

**A** 予算として約4億2200万円見込んでいます。

**Q** ふるさと納税は市民が他自治体寄付をした場合、市の所得税収入や住民税収入は減収するという仕組みから、市の税収への影響額は？

**A** 税収への影響額は1億1,900万円程度と推計しています。

**Q** 経費と影響額の合計が5億4,100万円で、ふるさと納税見込額10億1,800万円の53%となる。市への寄付が少なく他自治体への寄付が多いと歳出が多くなるが、ふるさと納税事業拡大とする市長の考えを再度確認します。

**A** ルールに従い積極的に展開し、犬山の魅力のPR、返礼品充実など、拡大に向けて挑戦します。



小川 清美

**Q** 現在、木曾川観光株式会社では、小学校の一定学年で、児童全員を平日の「昼うかい」に、毎年招待してはどうか、ということを検討してみえます。ここで、課題となるのが、各学校から乗船場までの移動手手段の確保です。そこで、市の福祉バス活用、コミバスの無料乗車などが考えられます。こうした、市として可能と思われる支援を求めますが、いかがか。

**A** 会社の貴重な申し出は学校に伝えさせていただきます。うかい体験と東之宮古墳を結び付ければ、魅力的な遠足コースになるかもしれません。遠足であれば、交通費は保護者負担で実施していますので移動手手段の問題は解決できると思います。福祉バスの利用は、利用規則があり、条件が満たされる学校は、使用を認めることができると考えます。コミュニティバスの利用は、乗車定員の問題が大きく関わってきます。加えて、運行時間・経路によって、学校の行事計画に支障が出る可能性がありますので、利用は難しいのではないかと考えます。



畑 竜介

**Q** 現在策定されている犬山市BCP(※)は、地震を中心とした自然災害を想定し策定されているが、新型コロナウイルスの様な感染症の大流行も想定すべきリスクと考える。

そこで、今後のリスクに備え、現在のBCPに感染症に対する計画を盛り込むことを提案するが、当局の考えを問う。

(※)BCPとは災害時の業務継続計画のことです。

**A** ご指摘としては大変重要なご指摘だと思っております。今回のコロナに関しては、職員が感染し出勤出来ない場合を想定し、職員OBのリスト化を図りカバー体制を強化する等、臨機応変に対応してきました。また、第一波後には、今後に向けての総括もしています。しかし、コロナよりもっと危険性の高い感染症が起きる可能性もあることから、今後も改めて総括をし、様々な課題等の対策を洗い出し、しっかりとBCP計画に位置づけていくという事を、想定をしていきます。

\* 市政について判らないことや困りごとなどがございましたら、お近くの令和新政クラブ議員まで、お気軽にご相談ください。 大井雅雄 (☎090-2346-5705) 長谷川泰彦 (☎090-5613-1216) 小川清美 (☎090-3586-5096) 畑 竜介 (☎090-6334-4444)